

間 違 い や す い 花 々

花の名	科・属	花の色・茎	葉	特徴
オオイヌノフグリ (大犬の陰囊)	ゴマノハグサ科 クワガタソウ属	花はルリ色で1個つける 茎は分枝し、横に広がる	下部は対生・上部は互生 鋸歯は8～16個ある	一日花・花柄がある 果実の形が犬の陰囊に似ている(毛がある)
タチイヌノフグリ (立犬の陰囊)	ゴマノハグサ科 クワガタソウ属	花は青色で1個つける 茎は直立する	葉は対生 上部の葉は小さくなる	花柄は、ほとんどない
イヌノフグリ (犬の陰囊)	ゴマノハグサ科 クワガタソウ属	花は淡い紅白色か紅紫色を 1個つける	鋸歯は4～8個ある	*見る機会は少ない
フラサバソウ	ゴマノハグサ科 クワガタソウ属	花は淡い青紫色を1個つける	葉は互生 鋸歯は2～4個	*フランスのフランケットとサバティの名から名付ける(植物学者)
ハナイバナ (花内花)	ムラサキ科 ハナイバナ属	花は淡青紫色	葉は2～3cmの長楕円形	茎の上部の葉と葉の間に花をつける事による 先端は渦巻状にならない
キュウリグサ (胡瓜草)	ムラサキ科 キュウリグサ属	花は淡青紫色 花の中心は黄色	葉の上部は無柄 下部は長い柄がある	葉をもむとキュウリの匂いがする 花房の先端は渦巻になる
ヒトリシズカ (一人静)	センリョウ科 センリョウ属	花は白い花弁も萼もない 雄しべが3個つく	葉は光沢のある濃緑色で 楕円形で先が急にとがる	白い清楚な花を「静御前」にたとえたもの
フタリシズカ (二人静)	センリョウ科 センリョウ属	花は白色で花糸は糸状でない	葉は緑色で光沢がなく、4 枚の葉が2枚ずつ対になる	花穂が2個のものが多いが、1個や3～ 5個付くのもある
イチリンソウ (一輪草)	キンポウゲ科 イチリンソウ属	白色で5～6枚の花弁に 見える萼片がある	茎葉は3個輪生で3出複葉 小葉は羽状に深裂する	茎の先端に1個つける・茎葉に柄ある
ニリンソウ (二輪草)	キンポウゲ科 イチリンソウ属	白色又は淡紅紫色で5～7 枚の花弁に見える萼片がある	葉は基部まで深く裂け小葉 は更に3つに裂ける	花はイチリンソウより小さい 茎・葉に柄がない

花の名	科・属	花の色・茎	葉	特徴
カラスノエンドウ (烏野豌豆) ヤハズエンドウ	マメ科 ソラマメ属	花は紅紫色 (1.2~1.8cm) で1~3個つく	8~16枚の小葉からなる	豆果が黒く熟すのでこの名になる 托葉に黒っぽい蜜腺がある、 豆果は斜上する
スズメノエンドウ (雀野豌豆)	マメ科 ソラマメ属	花は白紫色 (3~4mm)	12~14枚の小葉	カラスノエンドウより小型 豆果に短毛あり、下向きにつく
カスマグサ (かす間草)	マメ科 ソラマメ属	花は淡青紫色 (5~9mm)	8~15枚の小葉	カラスノエンドウとスズメノエンドウ の間、豆果に毛がなく下向きにつく
コメツブツメクサ (米粒詰草)	マメ科 シャジクソウ属	花は黄色 (3~4mm) で 5~20個球状に集まる	3小葉で葉柄は短い	実の時期にも淡褐色の花弁が残る
コメツブウマゴヤシ (米粒馬肥やし)	マメ科 ウマゴヤシ属	花は黄色で 20~30個球状に集まる	3小葉の複葉	莢は楕円形に巻き、刺がない

参考文献：山溪ハンディ図鑑・九州の花図鑑・秋吉台で出会った花・他